



リョービグループ サプライヤー
サステナビリティガイドライン

2026年3月(第2版)

リョービ株式会社

【制定・改訂履歴】

■2017年1月(初版)

「リョービグループサプライヤーCSR ガイドライン」として制定

■2026年3月(第2版)

名称変更および内容の全面改定

- ・名称を「リョービグループ サプライヤーサステナビリティガイドライン」へ変更。
- ・ビジネスと人権、気候変動、サプライチェーンの多様化など、近年の国際的な社会的要請の変化を踏まえ、全項目をアップデート。

※本ガイドラインは、今後の国際的な社会的要請の変化や関連法令の改正に合わせて、適宜見直しおよび改訂を行います。

【目次】

1. はじめに(背景と目的)	3
2. 本ガイドラインの適用範囲	3
3. リョービグループ サプライヤーサステナビリティガイドライン.....	4
1. 人権・労働	4
1.1 強制労働・児童労働の禁止	
1.2 人権の尊重と差別の禁止	
1.3 適切な労働条件の確保	
1.4 結社の自由と団体交渉権	
1.5 責任ある鉱物調達	
2. 安全衛生	4
2.1 職場の安全確保	
2.2 安全衛生マネジメントの推進	
2.3 緊急時への備え	
3. 環境	4
3.1 環境マネジメント	
3.2 気候変動への対応	
3.3 資源循環・廃棄物管理	
3.4 化学物質管理	
3.5 生物多様性	
4. 公正な事業慣行・倫理	5
4.1 法令遵守と腐敗防止	
4.2 公正な競争	
4.3 知的財産の尊重	
4.4 内部通報制度の整備	
5. 品質・安全性	5
5.1 製品安全と品質保証	
5.2 品質の維持・向上	
6. 情報セキュリティ	5
6.1 機密情報・個人情報の管理	
6.2 サイバーセキュリティ対策	
7. 事業継続計画(BCP)	5
7.1 リスクへの備え	
8. 社会貢献	5
8.1 地域社会との共生	
4. おわりに(運用とお願い)	6

1. はじめに

近年、気候変動の深刻化や人権問題への関心の高まりなど、企業を取り巻く社会的課題は一層複雑化しています。こうした中、企業には自社のみならず、サプライチェーン全体を通じた責任ある行動が強く求められています。

リョービグループは、企業理念「**技術と信頼と挑戦で、健全で活力に満ちた企業を築く。**」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指しています。

この実現には、サプライヤーの皆様との協働が不可欠であるとの認識から、「リョービグループ サプライヤーサステナビリティガイドライン」を策定しました。本ガイドラインは、国連「ビジネスと人権に関する指導原則(UNGP)」、ILO 中核的労働基準、OECD 多国籍企業行動指針等の国際規範を踏まえ、取引先の皆様に遵守・実践をお願いしたい基本的な考え方と行動指針を示すものです。

リョービグループは、皆様とのパートナーシップを通じて、社会から信頼される持続可能なサプライチェーンの構築を目指してまいります。

2. 本ガイドラインの適用範囲

本ガイドラインは、リョービグループに製品、部品、設備、ソフトウェア、サービス等を提供するすべてのサプライヤーの皆様に適用されます。

サプライヤーの皆様におかれましては、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、自社での遵守・実践にとどまらず、皆様の取引先(上流サプライヤー)に対しても本ガイドラインの周知・展開および定着にご協力をお願いいたします。

3. リョービグループ サプライヤーサステナビリティガイドライン

1. 人権・労働

1.1 強制労働・児童労働の禁止

あらゆる形態の強制労働、児童労働、人身売買を禁止し、若年労働者を危険有害な業務に従事させません。

1.2 人権の尊重と差別の禁止

人種、国籍、性別、宗教、障がい等を理由とする差別や、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントを含むあらゆるハラスメント行為を一切認めず、多様性・公平性・包摂性(DEI)を尊重した職場環境の整備に努めます。

1.3 適切な労働条件の確保

各国・地域の法令を遵守し、適正な賃金の支払い、過度な長時間労働の是正、適切な休日・休暇の確保を行います。

1.4 結社の自由と団体交渉権

従業員の結社の自由および団体交渉権を尊重し、建設的な労使対話を促進します。

1.5 責任ある鉱物調達

紛争地域・高リスク地域からの鉱物調達について調査・確認を行い、人権侵害等に加担する原材料を使用しないためのデューデリジェンスに取り組みます。

2. 安全衛生

2.1 職場の安全確保

労働安全衛生に関する法令を遵守し、職場のリスクアセスメントを実施して、労働災害や事故の未然防止に努めます。

2.2 安全衛生マネジメントの推進

事業活動における安全衛生リスクを継続的に低減するため、適切な安全衛生管理体制を構築・運用します。

2.3 緊急時への備え

火災、地震、労働災害などの緊急事態を想定し、対応手順の策定や避難訓練を実施します。

3. 環境

3.1 環境マネジメント

ISO14001等を参考に、環境負荷低減に向けた管理体制を構築・継続的に改善します。

3.2 気候変動への対応

GHG 排出量(Scope1・2)の把握・削減に取り組むとともに、可能な範囲で Scope3 排出量の把握・削減に努めます。

3.3 資源循環・廃棄物管理

3Rの推進、廃棄物の削減・適正処理、水資源の有効活用を行います。

3.4 化学物質管理

関連法令および環境負荷低減の観点に基づき、使用する化学物質を適切に管理します。

3.5 生物多様性

事業活動が生態系に与える影響を認識し、地域環境への配慮に努めます。

4. 公正な事業慣行・倫理

4.1 法令遵守と腐敗防止

あらゆる贈収賄、横領、恐喝等の腐敗行為を禁止し、政治・行政との健全な関係を保ちます。

4.2 公正な競争

独占禁止法等を遵守し、公正で透明かつ自由な競争を阻害する行為を行いません。

4.3 知的財産の尊重

自社の知的財産を保護するとともに、第三者の知的財産権を侵害しないよう十分に管理します。

4.4 内部通報制度の整備

不正行為の早期発見・是正のため、通報者が不利益な扱いを受けない内部通報窓口を設置し、運用します。

5. 品質・安全性

5.1 製品安全と品質保証

各国の製品安全法令および品質基準を遵守し、ISO9001 等に基づく品質保証体制を確立します。

5.2 品質の維持・向上

不適合品の流出防止を徹底し、万が一の不具合発生時には、迅速な原因究明と再発防止策を講じます。

6. 情報セキュリティ

6.1 機密情報・個人情報の管理

当社および顧客から受領した機密情報、従業員の個人情報を適切に管理し、漏洩・改ざんの防止を徹底します。

6.2 サイバーセキュリティ対策

サイバー攻撃に対する防御策を講じ、ネットワークやシステムの脆弱性を定期的に見直します。

7. 事業継続計画(BCP)

7.1 リスクへの備え

大規模自然災害や感染症、地政学的リスク等による事業中断を想定し、供給責任を果たすための事業継続計画(BCP)を策定・維持するよう努めます。

8. 社会貢献

8.1 地域社会との共生

良き企業市民として、地域社会の文化・慣習を尊重し、社会貢献活動へ自主的に取り組みます。

4. おわりに

本ガイドラインの遵守状況について、セルフアセスメントの実施や訪問・ヒアリングをお願いする場合があります。

リョービグループは、サプライヤーの皆様との対話を重視し、一方的な要請ではなく、共に成長する関係の構築を目指します。

持続可能なサプライチェーンの実現に向け、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。